

感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

1 中部保健所内の高齢者施設

(1)施設の概要について

利用者84名、職員65名

(2)有症者の状況等

ア 2月26日(水)に、当該施設から中部保健所へ、複数名の利用者及び職員が嘔吐・下痢・発熱等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、中部保健所が調査を開始し、2月18日(火)から2月25日(火)にかけて、利用者及び職員に嘔吐・下痢・発熱等の症状があったことを確認。

ウ 有症者はいずれも回復傾向にある。

【有症者の性別構成】(単位:人)

区分	利用者	職員	合計
男	2	1	3
女	4	3	7
計	6	4	10

(3)調査結果について

ア 高齢者施設で実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。

イ 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 中部保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

2 奥州保健所内の高齢者施設

(1)施設の概要について

利用者60名、職員48名

(2)有症者の状況等

ア 2月25日(火)に、当該施設から奥州保健所へ、複数名の利用者及び職員が嘔吐・下痢・発熱等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、奥州保健所が調査を開始し、2月17日(月)から2月26日(水)にかけて、利用者及び職員に嘔吐・下痢・発熱等の症状があったことを確認。

ウ 入院者1名あり、本日退院予定。その他の有症者はいずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	利用者				職員	合計
	70代	80代	90代	計		
男	2	1	0	3	3	6
女	0	2	7	9	6	15
計	2	3	7	12	9	21

(3)調査結果について

ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。

イ 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 奥州保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

3 一関保健所内の高齢者施設

(1)施設の概要について

利用者50名、職員30名

(2)有症者の状況等

ア 2月25日(火)に、当該施設から一関保健所へ、複数名の利用者及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、一関保健所が調査を開始し、2月13日(木)から2月26日(水)にかけて、利用者及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 有症者はいずれも回復傾向にある。

【有症者の性別構成】(単位:人)

区分	利用者	職員	合計
男	8	2	10
女	9	6	15
計	17	8	25

(3)調査結果について

ア 環境保健研究センターで実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。

イ 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 一関保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

4 久慈保健所内の高齢者施設

(1)施設の概要について

利用者113名、職員110名

(2)有症者の状況等

ア 2月25日(火)に、当該施設から久慈保健所へ、複数名の利用者及び職員が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、久慈保健所が調査を開始し、2月20日(木)から2月25日(火)にかけて、利用者及び職員に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 入院者1名あり。その他の有症者はいずれも回復傾向にある。

【有症者の性別・年齢別構成】(単位:人)

区分	利用者					職員	合計
	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	計		
男	1	0	1	0	2	0	2
女	0	0	1	6	7	2	9
計	1	0	2	6	9	2	11

(3)調査結果について

ア 高齢者施設で実施した糞便検査の結果、有症者6名からノロウイルスを検出。

イ 久慈保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 久慈保健所は、当該施設に対し手洗い及び消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (当日の盛岡市分を含む、()内は年度累計、単位:件)

区 分(公表日ベース)	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
令和6年4月1日～ 令和7年2月27日	40	0	21	61
令和5年4月1日～ 令和6年2月27日	37 (42)	0 (0)	34 (43)	71 (85)
令和4年4月1日～ 令和5年2月27日	68 (86)	1 (1)	35 (37)	104 (124)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行いながら、マスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 太田・佐々木 019-629-5417】